

おれんじニュース

No.4 12

2024年9月

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
五家原岳	5
蝶ヶ岳再び 5月の北アルプス	6
燕岳・大天井岳	8
おれんじカレンダー	10

表銀座を大天井岳に向かって

2024年	9月	10月	時間	場所
専門部会 全体集会	28(土)	26(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
			14:30~16:00	

9月



月例山行案内

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部	自然・山行部
月/日(曜)	9/1(日)	9/21(土)-9/23(月)	9/27(金)	9/29(日)
山名(行事)	竜ヶ峰	鹿屋市高隈山系	虚空蔵山(川棚町)	クリーンハイキング
地 図	鏡	上祓川	嬉野・彼杵	多良岳
集合場所	西諫早駅 6:30	西諫早駅 7:00	緑地公園 9:00	緑地公園 8:00
難易度	体力1 / 技術1	体力1~2 / 技術2	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1
帰着時間	19:30	9/23(月) 19:00	15:30	15:00
歩行時間	4.5h	計10h	3.0h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイカー	マイカー
宿泊施設	なし	テント泊&民宿	なし	なし
温泉	なし	あり	なし	なし
参加費	5,200円	2万~2.5万円	800円	なし
申込期限	8/25	9/8	9/23	9/22
集 約	今 坂	堺・福田	田 中	今坂
備 考	辰年に因んで低山縦走。石段登山口から予定。五合目登山口からでも可。	ゆっくり班・健脚班・1泊2日あり。タカクマホトトギス等を鑑賞する。	標高が低いが展望は素晴らしい。南に経ヶ岳、北に隠居岳等	年1回の清掃活動多くの方の参加をお願いします。(五家原岳)

10月

部	技研部	自然・山行部	ひまわり部	自然・山行部
月/日(曜)	10/6(日)	10/20(日)	10/25(金)	10/27(日)
山名(行事)	俵 山	安満岳・鯛の鼻・川内峠	長崎県民の森	黒 岳
地 図	立野・大矢野原	紐差・生月・平戸	神 浦	大船山
集合場所	西諫早駅 6:30	西諫早駅 8:00	緑地公園 9:00	西諫早駅 6:30
難易度	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1	体力1 / 技術1	体力2/技術1.5
帰着時間	18:00	17:30	16:00	20:00
歩行時間	4.0h	3.0h	3.0h	7.5h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温泉	なし	時間があれば直売所	なし	なし
参加費	5,000円	3,500円	800円	5,000円
申込期限	9/29	10/13	10/20	10/20
集 約	吉 原	今 坂	田 中	今 坂
備 考	マツムシソウの群落を鑑賞。	世界文化遺産構成の安満岳及び川内峠から県の三大離島、壱岐・対馬を展望する。	癒しの森散策 フイトンウッド浴コース	男池園地を起点にゆっくり班は風穴まで、健脚班は高塚山まで紅葉を楽しむ。

事務局より



◇ 「映像で見る日本の山」 講演会実施

8月6日(火)山川町公民館において、いきいきサロン(山川町老人会)の依頼により「映像で見る日本の山」の講演を行いました。

講師として鎗水会長が、大山冬山登山と北アルプス蝶ヶ岳登山の2作品を約90分間説明を入れながら上映しました。

参加者約30名は興味深く視聴されて、上映終了後の質問も5、6件あり登山時の服装・装備・心構え・注意点などを説明して、登山の意義と魅力をアピール。以前の経験を思い出す方などもあり、皆さん楽しんでおられました。



◇ 県連 沢登りに参加して

7月28日(日)県連の初めての本格的な沢登りに参加しました。

*参加者11名(オレンジ1名)

初心者対象の沢登り

- ・ **装備品**：ハーネス、沢靴、ヘルメット、環付きカラビナ、確保下降器(ATC)
貴重品の防水対策。

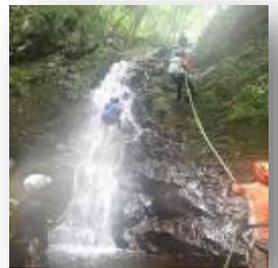
・概略工程

黒木第2駐車場～八丁谷からウナギテ沢へ、途中3つの滝を登りながらビレイの注意点などを行い最後の滝で懸垂下降をして、登山道に上がり駐車場に戻り反省会を行った。

・感想

八丁谷までの30分程の登山道歩きは暑くて早く沢に入りたい。スタート地点の沢に入ると水は冷たく気持ち良かった。

ルートには3つほどの滝があり、当初これを登るのかと驚いたがコンパニオンレスキューの訓練が活かして無事登る事が出来ました。猛暑での沢登りは気持ちよく楽しくて良い経験となりました。



◇ 県連より

・山筋ゴーゴー体操学習会

日時：9月20日(金) 13:30～15:00 会場：カブトガニアリーナ1F(県立総合体育館剣道場)
参加費無料・体操が出来る服装、運動シューズ(体育館用) *「山筋ゴーゴー体操」パンフ持参
体温を測定、マスク着用のこと。申し込みは事務局まで。

・「会長会」集会

日程：9月28日(日) 15:00 場所：県連事務所 各会1名(三役の中から1名)

・平和登山・被爆遺構巡り

日程：10月19日(土)・・・集合時間、場所、リーダー等詳細未定。

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

実施日	7月6日	渡渉自己確保	渡渉訓練	渡渉者確保訓練
場所	小川内側			
参加数	5名			



火曜登山

月日	7/9 郡岳	7/16 金泉寺～西岳	7/23 雲仙	7/30 銀嶺溪
人数・時間	8名/3.5h	11名/3.0h	8名/3.0h	5名/3.0h
概要	南登山口～郡岳～坊岩～南登山口。蒸し暑く滑りやすい登山道を緊張しながら歩き、無事登頂、下山できた。坊岩からの展望良好。	金泉寺P～作業道～金泉寺～西の越～西岳～金泉寺～金泉寺P。雨上がりの湿度の高い日だったが、オオキツネのカミソリを確認、7分咲き程度だった。	仁田峠P～薊谷～鳩穴別れ往復。仁田峠付近は霧で視界が悪かったが登山道沿いの花々を愛でながら鳩穴別れまで歩く、15度程度の気温で涼しかった。	大渡橋～銀嶺溪～漢音滝往復。涼を求めて銀嶺溪ルートをやっくり散策したが川の水量が少なく沢を歩けず、思ったほど涼しくなかった。
備考	郡岳頂上 	西岳山頂 	ヤマホトトギス・ヤマアジサイ 	観音滝 



水曜登山

月日	7/3 狸だまり・山浦城	7/17 経ヶ岳	7/24 雲仙	8/7 絹笠山
人数・時間	7名/6.5h	11名/6.5h	8名/5.0h	8名/4.0h
概要	平谷キャンプ場P～狸だまり～平谷キャンプ場Pー山浦城P～山浦城～山浦城P。狸だまりからの下山は急坂があり注意。山浦城跡は展望良好し。	黒木P～舞岳登山口～舞岳～経ヶ岳～つげお～大払い～黒木P。夏のアルプスに向けての舞岳から登り大払いへ降りる厳しいコースを選択。いい訓練となった。	白雲の池P～絹笠山～高岳～林道～白雲の池P。涼しい風に吹かれ絹笠山へ、展望を楽しみオオキツネノカミソリを愛でに下り高岳まで足を延ばした	白雲の池P～絹笠山～別所～原生沼～白雲の池P。雲仙も気温が高く涼しい樹林帯ルートを選び散策。ナツエビネはほぼ満開だった。
備考	山浦城跡 	大払いの渡渉部迂回箇所 	オオキツネノカミソリ 	ナツエビネ 

7/26(金)

五家原岳

行程

緑地公園 9:00 - 修多羅の森 P9:40 ~ 水神様 10:15
~ 五家原岳山頂 11:30 (昼食 30分)

~ もみじ谷天望所 12:22 ~ * おたちね観音 13:10

~ 修多羅の森 P13:31 ~ 緑地公園 14:20

* 道標(木片)には「おたちね観音」とあるが、ここでは、一般的に多く使われる「おたちね観音」とした



登山概要

修多羅の森のトイレのある駐車場に車を止め、車道を水神様まで歩く。階段を登ると堰堤が現れ、過ぎると登山道はスギ林の間の急坂になる。この周囲はオオキツネノカミソリの群生地。今年は花が多いような気がする。目を楽しませてくれた。水神様から20分登ると道は平坦に、右に行くとおたちね観音へ。左に行けば五家原岳へ車道に出る。車道を歩き五家原岳山頂へ。ここで昼食。帰路はもみじ谷天望所に寄り、おたちね観音を経由して駐車場へ。



一言感想

* 今回のひまわり山行は、水神様から五家原岳、そしておたちね観音に下りてくるコースでしたが、涼しくて登山道のあちこちにオオキツネノカミソリが、目にも心地よく納涼登山でした。緑地公園に着いた途端にスクールでラッキーな一日でした。

* 森の中を吹く風は涼しく、オオキツネノカミソリの林床は美しく、本当に気持ちの良い山歩きでした。

* 膝痛だった為、久しぶりの山歩き。水神様から五家原岳、下りはおたちね観音へ、オオキツネノカミソリも何年ぶり。NHKさんが「ウスバキトンボ」を採集しているところに遭遇したり。日にちは不明ですが、「ダーウィンが来た」で放映されるそうです。楽しみにしています。

五月の北アルプス 蝶ヶ岳再び

2024/5/18~21

行程

5/18(土) 16:40 長崎空港—神戸空港—JR 新大阪 21:39 発(夜行バス)

5/19(日) 05:20/06:00 上高地 BT~07:10/07:50 明神館(朝食)~08:40/09:00 徳澤園
~10:00/10:25 横尾山荘~11:05/11:30 槍見台(昼食)~15:10 蝶ヶ岳稜線(標識)
~15:50 蝶ヶ岳ヒュッテ

5/20(月) 07:10/07:55 蝶ヶ岳ヒュッテ周辺散策~08:00/08:20 蝶ヶ岳~09:20/09:45 長堀山
~13:40/14:15 徳澤園~15:10 明神館

5/21(火) 08:00 明神館~08:45 岳沢湿原~08:55 河童橋~09:25/09:30 上高地
—11:22/12:53 JR 松本駅—15:01/15:15 JR 名古屋駅—16:03/17:50 中部国際空港
—19:20 長崎空港

概要

5/19 上高地からニリンソウの群落を分けて歩く。7:00に明神館で朝食を取り、不要な荷物を預けて少し身軽になった。横尾までは平地歩きで楽ではあるが、何と徳澤園から先が大々的な護岸改修の為、大きく迂回する。横尾山荘の脇の「蝶ヶ岳登山口」から、本格的な登りである。残雪なし、残念！ 約1時間で槍見台(1,800m)、振り返ると槍の遠景が見えて感動する。上から高校山岳部(男女)の一団が下りてくる、徳澤登山口から長堀山を超えて一気にやって来たそうである。我々が2日かけてやる事を1日でやってしまう。

若いって良いな~、昔に戻りたい！

槍見台から稜線まで高度差850m、急勾配が続く。高度2,200m辺りから残雪で4時間を要し、さすがに体力を消耗した。

それだけに今にも雨が降りそうな雲行きではあったが、槍・穂高の大パノラマに胸が震えた

5/20 明け方まで降っていた雨は上がり、青空の下に槍・穂高の大パノラマが広がる。アイゼンを付け残雪を踏みしめながら、振り返り振り返り長堀山(2,565m)の樹林帯に入って行った。

これから先は下りであるが長~い行程でうんざりする。こちらもやはり高度2,200m位まで残雪あり。まだ午前中であるが登山者にはめったに出会わない。

そんな中13時を過ぎた頃白人の若者(男女)が登ってきた。まるで街歩きの姿に呆れてしまう。我々は14時頃徳澤園に無事下りてきたが、かの若者達も遅れて下りてきたので安心した。

5/21 8時に明神館を出て、明神池、穂高神社、岳沢湿原を回り帰路に着く。中部国際空港には大矢さんが見送りに来てくれた。このような人の繋がりは嬉しいことである。



参加者 鎗水、浦山、本多、吉原、白石、吉川



感想

- ※ 上高地をスタートして 10 時間、やっと稜線にたどり着き後ろを振り返ると、突然大きな山塊のパノラマが大迫力で目の前に現れ思わず「ワ～ワ～」と叫んでしまった。あれが槍ヶ岳、穂高岳と・・・！初めての蝶ヶ岳はそんな素晴らしい感動の山でした。行って良かったです。
- ※ 綺麗な山名の蝶ヶ岳ですが、登り上がるにつれて穂高連峰の大パノラマのスクリーンが一幕一幕近づいてきて、稜線にたどり着いた時は大絶景に圧倒されました。
- ※ 同じ景色の写真を以前本で見た時は、カメラマンの腕が良いからだろうと思っていましたが本物の大絶景がここにあったと感動しました。



北アルプス つばくろだけ 燕岳・おてんしょうだけ 大天井岳山行

令和6年7月29日～8月3日

行程

- 7/29 16:34 諫早 IC 発～20:55 名鉄バス発
- 7/30 7:50 名鉄 BC～松本駅、穂高駅経由～13:45 中房温泉
- 7/31 5:00 中房温泉～11:30 燕山荘～16:00 大天荘(大天井岳)
- 8/ 1 4:00 大天荘～燕岳～15:30(中房登山口)有明荘着
- 8/ 2 9:00 有明荘～上高地散策～16:00 中の湯温泉
- 8/ 3 8:03 中の湯温泉～14:10 JR 名古屋駅～17:30 JR 博多駅
～九州号にて 21:41 諫早 IC 着

参加者名 塚、福岡、福田、工藤、今坂、白石、山下以上7名

登山概要

当初計画では夜行バスと山小屋2泊、旅館2泊で燕岳、大天井岳に加えて槍ヶ岳の三座の縦走を計画していた。

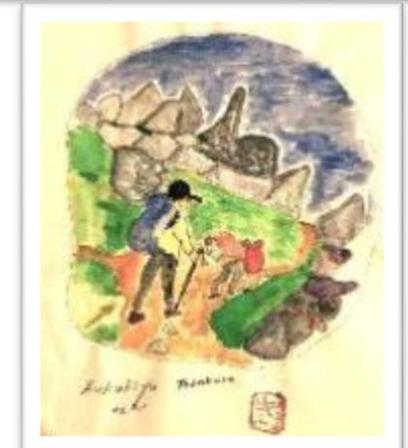
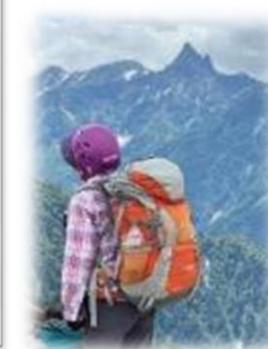
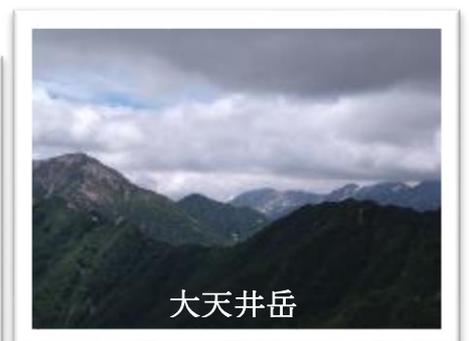
2日目は中房温泉まで移動し、3日目(7月31日)は午前5時に予定通り中房温泉を出発。

北アルプスの三大急登の1つであるつづら折れの合戦尾根を、歯を食いしばり燕山荘を目指す。

途中何回かお花畑を通過の際は思わず足が止まり、今を盛りと咲き誇る高山植物に見とれて時間が経つのを忘れた。ところが、燕山荘を過ぎ大下りに差し掛かるころから、先頭付近に行く仲間の様子がおかしい事に皆が気付く、声をかけるが元気が無い。最終的にはリュックの中身を手分けし、ストックを天秤棒にして、二人で仲間のリュックを担ぎ、大天荘に延着の事前連絡を入れた。予定より1時間延着したが、全員無事に山小屋に到着したのが何よりであった。

夕食後に今後の予定に関して全員で協議し、山は来年もそこにあるとの考えから、全員一致で下山する事にした。なお下山ルートに関しても、予定していたエスケープルートより、本日登って来たルートの方が良いとの山小屋からのアドバイスにより、そのようにする事を決定した。

明日は午前4時出発とした。



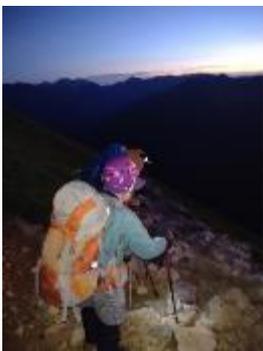
4日目(8月1日)午前4時出発、アルプスでは珍しいほどの好天で、午後からも雷鳴などもなく、途中の燕岳に登頂し、メガネ岩やイルカ岩等の奇岩を鑑賞し、15時30分全員無事、臨時に予約していた中房温泉の有明荘に到着した。

5日目は上高地に回り。上高地観光を堪能し、中の湯温泉に宿泊。翌6日目(8月2日)は新幹線と高速バスにて帰路についた。

今回の山行で槍ヶ岳への登頂はかなわなかったものの、ひと時の観光客気分に入れ、無事に帰れた満足感に、なぜか皆の顔は輝いていた。

一言感想

- ①合戦尾根は長い上り坂で疲れましたが、小屋のスイカは最高でした、燕山荘の直下の花畑は綺麗で、稜線に出ると涼風が吹き抜けてアルプスの空気は気持ち良かった。今年もあこがれの北アルプスに山行できたし、今回は特別に良い宿づくしで夕食も御馳走でした。コマクサの群落があっばれでした。
- ②5年ぶりの北アルプス登山なので、期待と緊張感で臨んだが、予想以上にハードなコースで、仲間と天候に助けられ自然を満喫、良い経験となりました。
- ③未踏の山に臨む期待感を大天井岳、燕岳が満たしてくれました。
- ④北アルプスの三大急登の合戦尾根はきつかったね。また燕山荘からのアルプスの大展望に満喫し、コマクサ達に癒されました。今回はコース良し、温泉宿良しでした。再チャレンジを誓います。



⑤厳しい合戦尾根を登って下って、沢山の高山植物も見ることが出来ました。合戦小屋のスイカも2日にわたって食べました。

⑥初日の中房温泉から燕山荘までの急登が第一難関かなと思っていました。何とか大天荘までたどり着き、そこから見える東鎌尾根と槍ヶ岳の三角錐の山容には、いくらかの臆する気持ちが湧いてきましたが、再チャレンジです。

⑦合戦尾根の急登に、全員がシルバー世代の我々は苦労したが、まだまだやれる。合戦小屋のスイカは最高。槍ヶ岳には登頂できなかったが、危急事態の対処法や仲間を思う心配り等、通常ではありえない貴重な体験をしました。山はまだ来年もある必ずリベンジをしたいので、近場の山で体作りに徹します。



おれんじカレンダー

9月			10月		
1	日	竜峰山・鞍ヶ峰・竜ヶ峰 (自然山行部)	1	火	火曜登山 (自主)
2	月		2	水	水曜登山 (自主)
3	火	火曜登山 (自主)	3	木	緑の地平線歩き (自主)
4	水	水曜登山 (自主)	4	金	
5	木	緑の地平線歩き (自主)	5	土	コンパニオンレスキュー (技研部)
6	金		6	日	俵山 (技研部)
7	土	コンパニオンレスキュー (技研部)	7	月	
8	日		8	火	火曜登山 (自主)
9	月		9	水	水曜登山 (自主)
10	火	火曜登山 (自主)	10	木	緑の地平線歩き (自主)
11	水	水曜登山 (自主)	11	金	
12	木	緑の地平線歩き (自主)	12	土	
13	金		13	日	
14	土		14	月	
15	日		15	火	火曜登山 (自主)
16	月		16	水	水曜登山 (自主)
17	火	火曜登山 (自主)	17	木	緑の地平線歩き (自主)
18	水	水曜登山 (自主)	18	金	
19	木	緑の地平線歩き (自主)	19	土	平和登山・被爆者遺構巡り
20	金	山筋ゴーゴー体験学習会	20	日	安満岳・鯛ノ鼻・川内峠 (自然・山行部)
21	土		21	月	
22	日	鹿児島県鹿屋市高隈山系 (技研部)	22	火	火曜登山 (自主)
23	月		23	水	水曜登山 (自主)
24	火	火曜登山 (自主)	24	木	緑の地平線歩き (自主)
25	水	水曜登山 (自主)	25	金	長崎県民の森 (ひまわり部)
26	木	緑の地平線歩き (自主)	26	土	専門部会 全体集会
27	金	川棚町・虚空蔵山 (ひまわり部)	27	日	大分県・黒岳 (自然・山行部)
28	土	専門部会 全体集会	28	月	
29	日	クリーンハイキング (自然・山行部)	29	火	火曜登山 (自主)
30	月		30	水	水曜登山 (自主)
			31	木	緑の地平線歩き (自主)

川原顧問所掌➡緑の地平線歩き (9:00)、コンパニオンレスキュー(第1土曜 9:30) 緑地公園集合

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、福田清人、吉原昌弘、陣川光子、西寿男、福岡正廣
発行年月日	2024/8/24
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com



オレンジ HP QR